

自動リブートタツプ制御ソフトウェア  
取扱説明書 Ver0.0.8

アプリソフト : Ver0.18  
ファームウェア : Ver2.0.0  
Ver2.0.2  
Ver3.0.0

大和電器株式会社

2023-11-20

作成・修正履歴

Ver	担当者	日付	内容
0.0.6	西村	2021/02/24	フィールドテスト用
	西村	2021/02/26	ドメイン名入力例追加、PING 間隔修正
	西村	2021/05/10	繰り返し無効設定時の実施回数の詳細追加
0.0.7	西村	2021/10/01	監視画面とソフト更新変更、設定ファイルと制御メールのパラメータ説明追加
	西村	2021/11/17	アプリソフト Ver0.18 / ファームウェア Ver2.0.0 に適用
	西村	2022/06/27	ファームウェア Ver.2.0.2 適用併記、他
0.0.8	西村	2022/12/15	ファームウェア Ver.3.0.0 対応
	藤森	2023/11/20	Windows11 追記

## 目次

1	ソフトウェア概要	5
2	アプリソフトのインストール	6
3	画面説明と操作方法	8
3.1	機器操作インターフェースの説明	8
3.1.1	ボタン	8
3.1.2	LED	8
3.2	制御ソフト起動と終了	8
3.3	自動リブートタップ接続	10
3.3.1	自動リブートタップのネットワーク初期設定	10
3.3.2	自動リブートタップ接続	11
3.4	自動リブートタップ設定	15
3.4.1	使用前の設定	15
3.4.2	ネットワーク設定	15
3.4.3	基本設定	16
3.4.4	アウトレット設定	18
3.4.5	PING 監視設定	20
3.4.6	スケジュール設定	23
3.4.7	メールサーバー設定	24
3.4.8	メール制御設定	25
3.4.9	ログイン情報設定	26
3.4.10	設定ファイルのインポート・エクスポート	28
3.5	アウトレット制御と監視	32

3.6	ロギング	33
3.7	PING 監視	34
3.8	機器ファームウェア更新	36
4	メール通知	38
4.1	警報メール	38
4.2	通知メール	38
5	メールからの制御	39
5.1	制御メールのフォーマット	39
5.2	メール制御の指令	39
5.3	制御メールの例	42
6	エラーの対処	43

## 1 ソフトウェア概要

本アプリは自動リブートタツプ (T1901) 向の、パソコンで実行する制御ソフトウェア (以下は「制御ソフト」と記述) で、ネットワーク (LAN) 経由で自動リブートタツプを制御・監視できます。

### 主な機能

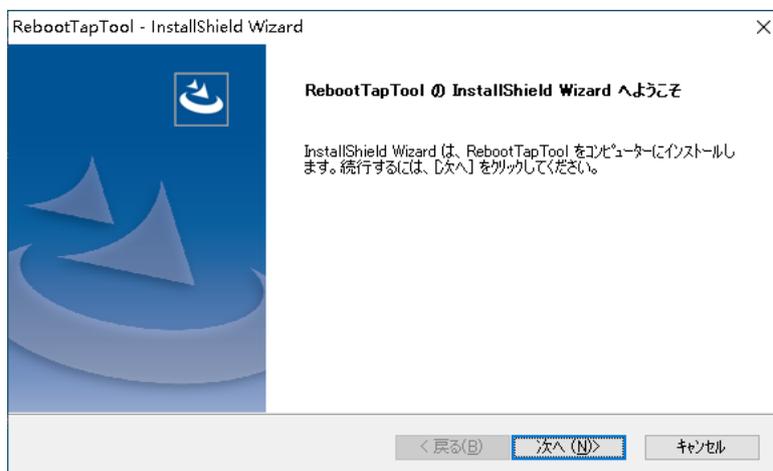
- ✓ ネットワーク内の自動リブートタツプ検索と接続
- ✓ 自動リブートタツプ各種パラメータ設定と保存
- ✓ 自動リブートタツプ PING 監視の制御

本制御ソフトは以下の条件で動作可能です。

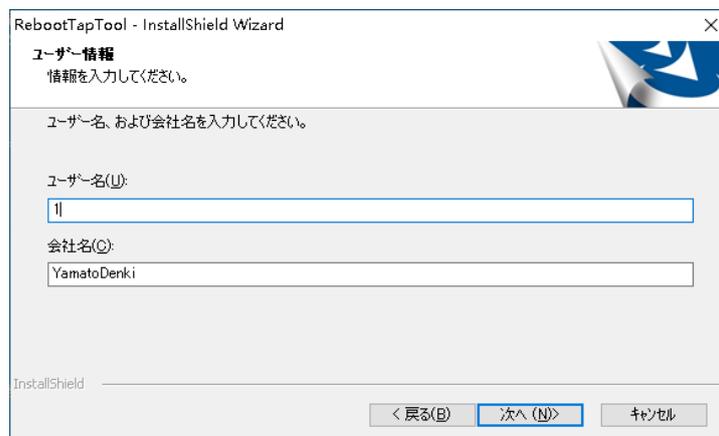
- ✓ Windows7、Windows10、Windows11 のいずれか搭載のパソコン
- ✓ ディスプレイの解像度 1024×768 ピクセル以上
- ✓ ディスプレイの表示スケール設定範囲 100%~150%
- ✓ ネットワーク接続可能なインターフェース搭載

## 2 アプリソフトのインストール

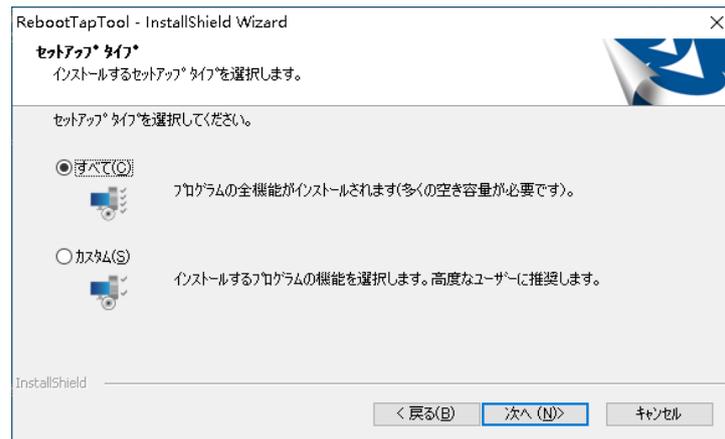
アプリソフトのインストーラを実行すると以下の画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします。



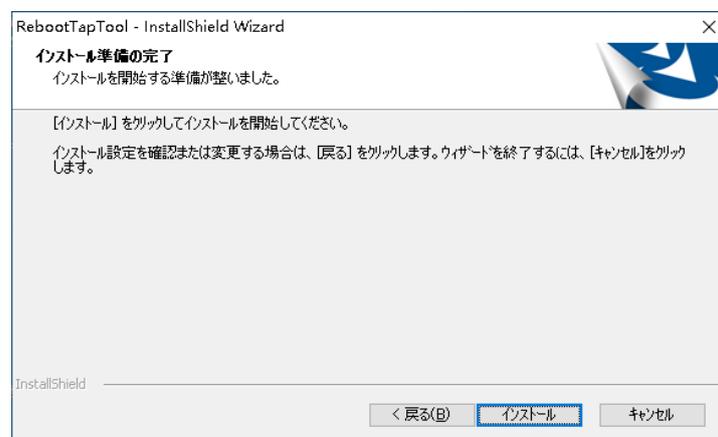
以下の画面でユーザー名と会社名を入力して「次へ」ボタンをクリックします。



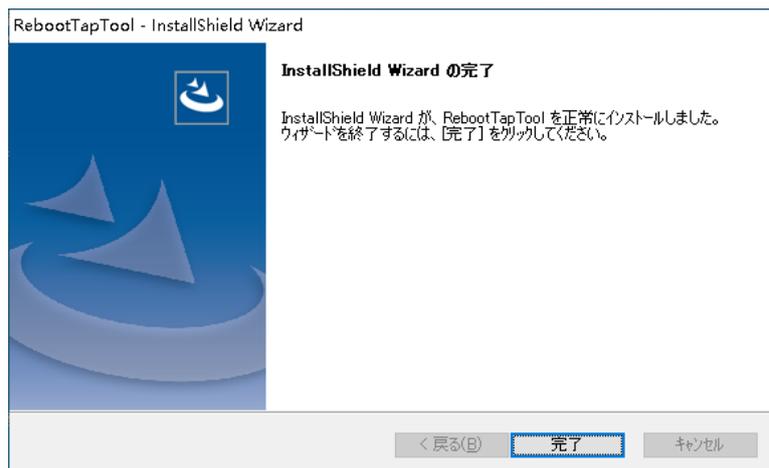
以下の画面で「すべて」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。アプリソフトのデフォルトインストールフォルダは「x:\¥Program Files (x86)\¥YamatoDenki\¥RebootTapTool¥」です。



以下の画面で「インストール」ボタンをクリックします。



しばらくすると以下の画面が表示されるので、「完了」ボタンをクリックします。これでアプリソフトのインストールが完了します。



注意:既にインストールされているアプリより古いバージョンのアプリに書き換える場合は、書き換える前に現在インストールされているアプリをアンインストールしてください。

### 3 画面説明と操作方法

#### 3.1 機器操作インターフェースの説明

機器のボタンの操作方法と LED の表示を説明します。

##### 3.1.1 ボタン

機器のボタンは以下の操作方法により、機器リセット機能と出荷時設定復帰機能を実現します。

機能	操作と表示	備考
機器リセット	ボタンを短押しして離します（3秒以内）。 LEDが一時消灯して点灯します。	機器 CPU リセット
初期化①	ボタンを5秒以上押し続けて離します。 全LEDが赤と緑に交互に点灯します（約5秒間）。 この状態でボタンを再度5秒以上押し続けて離します。 全LEDが赤く点灯し、その後、緑の点灯に変われば初期化完了です。	各種設定を出荷時設定に復帰
初期化② （初期化①でできない場合）	ボタンを押しながら電源を投入して5秒以上経過後に離します。 全LEDが赤く点灯し、その後、緑の点灯に変われば初期化完了です。	各種設定を出荷時設定に復帰

##### 3.1.2 LED

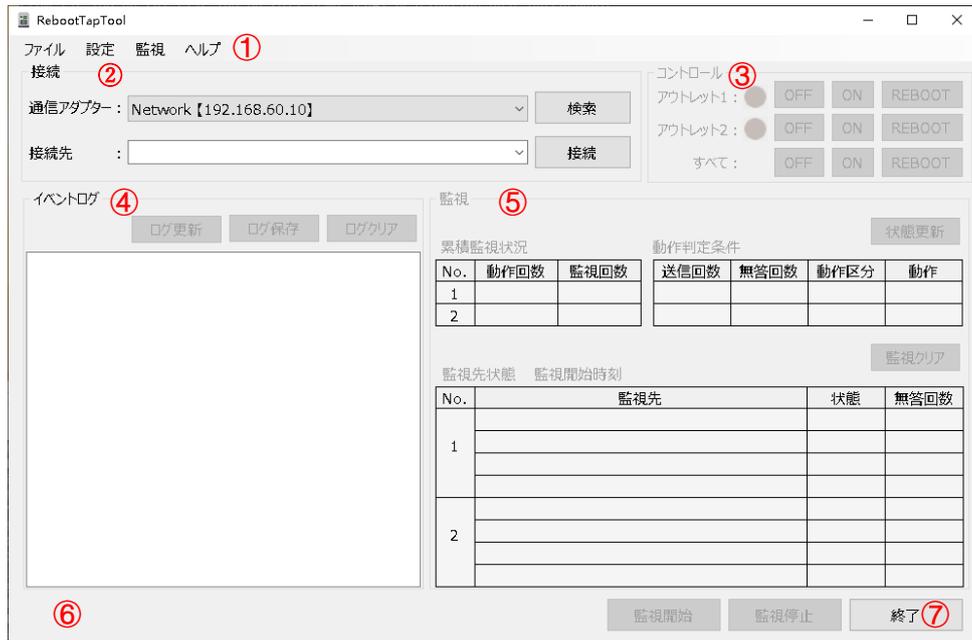
機器の3つのLEDは以下のように機器の状態を表示します。

LED	表示	表示詳細	備考
LED1	アウトレット1の状態	緑点灯：ON 消灯：OFF	設定復帰時3つのLEDの状態は「3.1.1 ボタン」を参照
LED2	アウトレット2の状態	赤点灯：Reboot	
LED PWR	電源状態	緑点灯：電源動作正常 消灯：電源未投入	

#### 3.2 制御ソフト起動と終了

制御ソフト「RebootTapTool.exe」を実行してアプリソフトを起動します。

以下のメイン画面が表示されます。



メイン画面の各部機能は以下の通りです。

①メインメニュー

メインメニュー	サブメニュー	機能
ファイル	設定ファイル インポート	設定ファイルを読み込んで自動リブートタ ップに設定
	設定ファイル エクスポート	自動リブートタップから設定を読み出して設 定ファイルに保存
設定	ネットワーク設定	IPアドレスなどのネットワーク情報を設定
	基本設定	時刻、機器名などの基本情報を設定
	アウトレット設定	アウトレット情報を設定
	PING 監視設定	PING 監視パラメータを設定
	スケジュール設定	スケジュールパラメータを設定
	メールサーバー設定	メールサーバー情報を設定
	メール制御設定	メール制御パラメータを設定
	ログイン情報設定	機器遠隔操作のログイン情報を設定
監視	監視開始	監視メッセージ表示を開始
	監視停止	監視メッセージ表示を停止
	監視クリア	監視のメッセージをクリア
	状態更新	PING 監視状態を更新
ヘルプ	バージョン情報	制御ソフトバージョン情報を表示
	ソフト更新	機器ファームウェアを更新

## ②接続／接続を切断

ネットワーク上の自動リブートタップを検索し、IP アドレスと MAC アドレスをリストアップします。指定された IP アドレスの自動リブートタップを接続し、制御を開始します。

自動リブートタップの IP アドレスまたはドメイン名が既に分かっている場合は、直接入力することにより接続可能です。

接続状態では接続した自動リブートタップを切断し、制御完了します。

## ③コントロール

自動リブートタップの各アウトレットの ON/OFF リブート状態を表示・制御します。

## ④イベントログ

アウトレットリブート、ログインなどのイベントが発生した場合、発生タイミングとイベント情報を表示します。

## ⑤監視

PING 監視の各種パラメータや状態を表示します。

## ⑥表示

制御ソフト各種操作結果を表示します。

## ⑦終了

メイン画面の「終了」ボタンをクリックして制御ソフトを終了します。

### 3.3 自動リブートタップ接続

#### 3.3.1 自動リブートタップのネットワーク初期設定

自動リブートタップを初めて使用する場合、または、出荷時の設定にした場合は、DHCP 有効の設定で DHCP 機能を持つネットワークから自動でネットワーク情報を取得します。ただし、DHCP 機能なしのネットワークに接続し

た場合は、以下のデフォルトネットワーク設定になります。

IP アドレス	192.168.60.110
ポート番号	9090
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.60.1
DNS サーバーIP アドレス	192.168.60.1
DHCP	無効

### 3.3.2 自動リブートタップ接続

以下の手順でネットワーク上の自動リブートタップを検索して接続します。

接続

通信アダプター : WLAN【192.168.2.102】 ①

接続先 : IP=192.168.2.103:9090 MAC=00-08-13-80-3A-00 ③

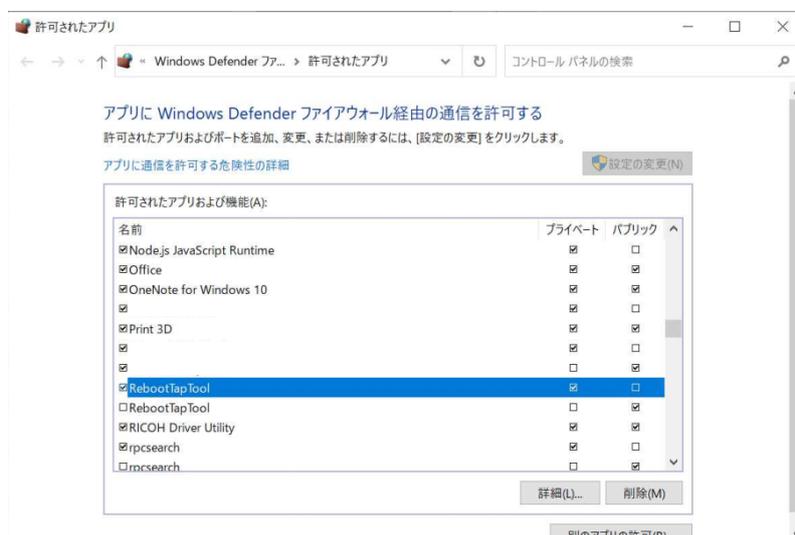
検索 ②

接続 ④

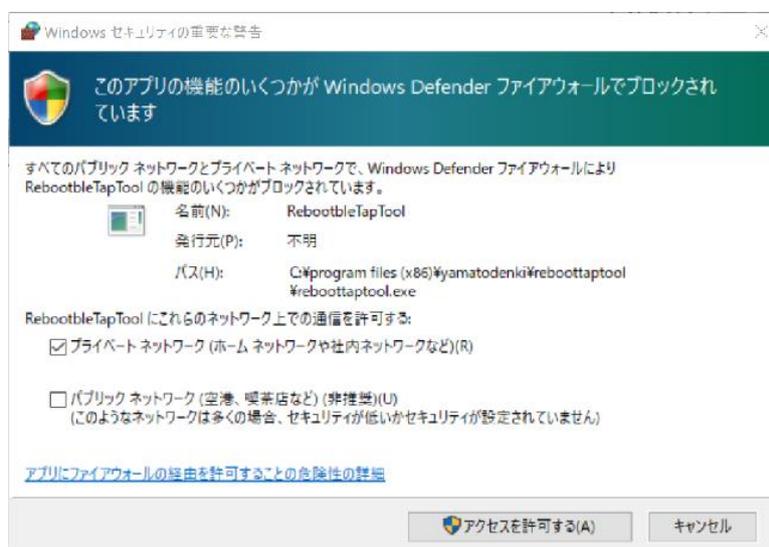
①通信アダプターをクリックしてアプリソフトで使用する通信アダプターを選択します。ここでは Windows の「ネットワーク接続」の画面で表示されるアダプターの名前が表示されます。

②「検索」ボタンをクリックしてネットワーク上の自動リブートタップを検索し、検索中のメッセージ⑤が表示されます。検索中のメッセージ⑤が消えると、検索が完了します。「接続先の IP」③で検索した自動リブートタップの IP アドレス、ポート番号及び MAC アドレスがリストアップされます。接続したい自動リブートタップの IP アドレスを選択します。

検索できない場合は、以下のファイアウォール経由許可の設定で、制御ソフト  
(RebootTapTool) ファイアウォール経由が許可されていることを確認してく  
ださい。

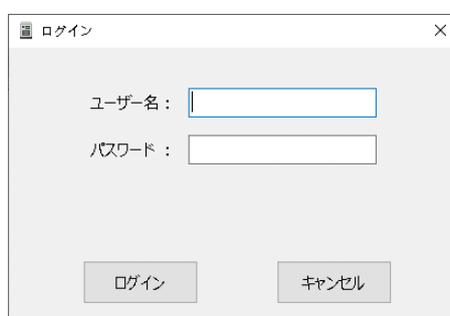


アプリをインストールした直後は、以下のような画面が表示される場合があり  
ますので、通信を許可してください。



③「接続先の IP」に直接自動リブートタップの IP アドレスまたはドメイン名、  
ポート番号が入力できます。「IP アドレス: (半角コロン) ポート番号」の形で  
入力します。

④「接続」ボタンをクリックして選択した自動リブートタップを接続し、通信開始します。機器に接続して遠隔操作する前に、以下のログイン画面を表示します。



機器にログインするユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」ボタンを押します。入力されたログイン情報（大文字小文字区別する）と機器に保存されたログイン情報を照合し、一致した場合は、次の遠隔制御注意事項確認に進みます。一致しない場合は、再度入力してログインを行います。ログインに3回失敗した場合、メイン画面に戻るので、再度機器に接続します。

デフォルトログイン情報は以下の通りです。

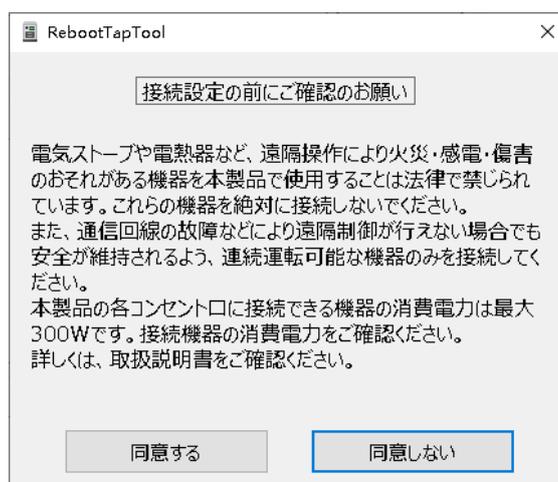
ユーザー名：username

パスワード：password

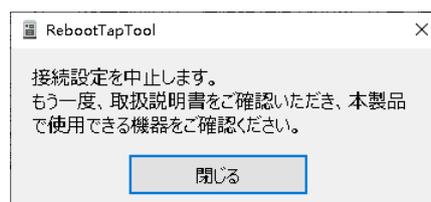
機器ログイン情報は接続した状態で「ログイン情報設定」画面で変更可能です。詳細は「3.4.9 ログイン情報設定」を参照ください。

機器ログイン情報を忘れた場合は、出荷時設定にすることにより、上記のデフォルトログイン情報で登録可能です（この場合、各種設定内容は初期化されます）。

機器ログイン情報照合のあと、以下の遠隔制御注意事項を確認します。



「同意しない」ボタンを押すと次のメッセージを表示するので、「閉じる」ボタンを押して接続を中止し、メイン画面に戻ります。



「同意する」ボタンを押すと、機器接続を行います。

接続成功の場合、接続ボタンは「接続」から「接続を切断」に変わります。

自動リブートタップに接続すると、各種設定と制御が可能になります。



「接続を切断」ボタンをクリックすると接続した自動リブートタップを切断します。接続ボタンは「接続を切断」から「接続」に変わります。

### 3.4 自動リブートタップ設定

各設定画面で、または設定ファイルのエクスポート・インポートにより、自動リブートタップのパラメータを設定します。

#### 3.4.1 使用前の設定

自動リブートタップを使用するために時刻設定と PING 監視設定の最低限の設定を行う必要があります。

自動リブートタップの時刻は設定しないと、スケジュール制御または制御メール受信が実施できないので、自動リブートタップを使用する前に必ず時刻設定を行ってください。PC 時刻同期または NTP サーバー時刻同期の方法があります。詳細は「3.4.3 基本設定」を参照してください。

PING 監視を行うために監視先アドレス、送信回数、無答回数、動作などの PING 監視規則を設定します。詳細は「3.4.5 PING 監視設定」を参照します。

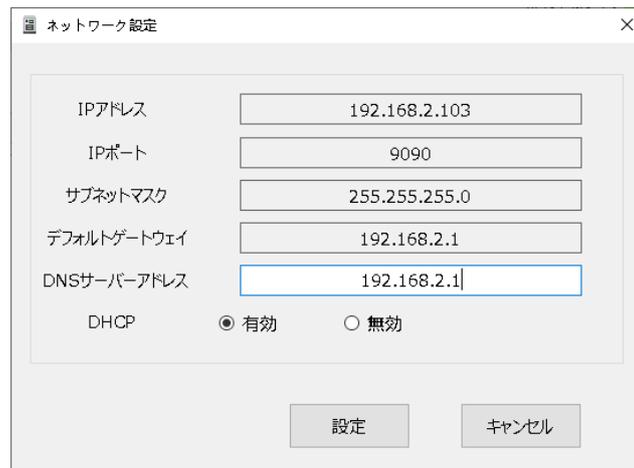
それ以外に以下の自動リブートタップ設定もそれぞれ可能です。

No.	設定内容	参考先
1	ネットワーク情報	3.4.2 ネットワーク設定
2	機器名称	3.4.3 基本設定
3	アウトレットパラメータと名称	3.4.4 アウトレット設定
4	スケジュール制御パラメータ	3.4.6 スケジュール設定
5	メール送受信用サーバー情報	3.4.7 メールサーバー設定
6	メール通知・制御の設定	3.4.8 メール制御設定
7	ログイン情報	3.4.9 ログイン情報設定

#### 3.4.2 ネットワーク設定

メインメニューの「設定」-「ネットワーク設定」をクリックして自動リブートタップのネットワーク情報を設定します。ネットワーク情報を設定した場合

は現在の接続が切断され、再度機器に接続する必要があります。



DHCP デフォルト：有効

DHCP 機能を持つネットワークに接続した場合は、DHCP を有効に設定することにより、ネットワーク情報をネットワークから自動で取得できます。

DHCP 機能なしのネットワークに接続した場合は、DHCP を無効に設定します。DHCP を有効から無効に変更した場合は、ネットワークから自動で取得したパラメータが表示されるので、手動で変更できます。

### 3.4.3 基本設定

メインメニューの「設定」-「基本設定」をクリックして自動リブートタップの基本設定を行います。



### ①時刻設定

自動リブートタップの内蔵時刻を表示します。「PC 時刻取得」をクリックすると PC 内蔵時計を表示します。電源投入後、時刻は 2021 年 1 月 1 日 0 時 0 分 0 秒からカウントアップします。

PC 内蔵時計または入力した時刻を、「設定」ボタンをクリックして自動リブートタップに設定します。

### ②NTP 設定

NTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。

デフォルト：空白（NTP 時刻同期しない）

ドメイン名を入力する場合は、NICT(独立行政法人情報通信研究機構)「ntp.nict.jp」を推奨します。なお、実行するパソコンでドメイン名から IP アドレスに変換して機器に設定しますので、パソコンの DNS を有効に設定する必要があります。不正なドメイン名またはドメイン名から IP アドレスに変換できない場合は、エラーメッセージ「NTP サーバーアドレスの入力フォーマットが不正です。」を表示するので、正しいドメイン名または IP アドレスを入力してください。

約 1.5 時間毎に NTP サーバーに接続して時刻同期を行います。

### ③機器名称

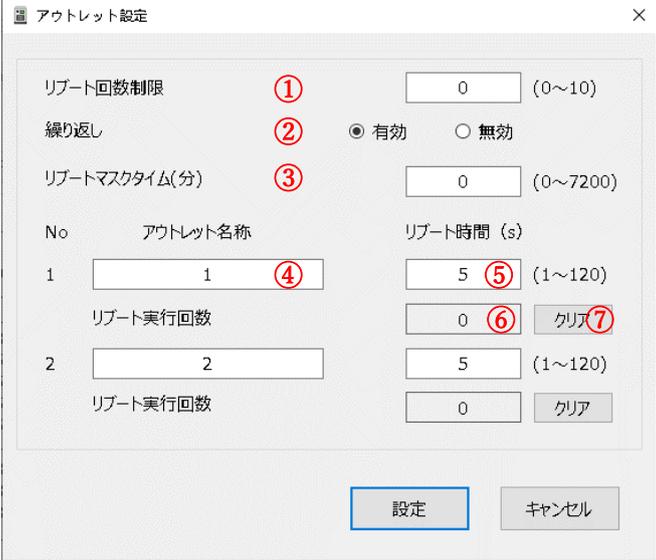
機器名称を設定します。(全角 12 文字、半角 24 文字以内)

### ④機器 MAC アドレス

機器 MAC アドレスを表示します。

### 3.4.4 アウトレット設定

メインメニューの「設定」-「アウトレット設定」をクリックして自動リブートタップの各アウトレット情報を設定します。



No	アウトレット名称	リポート時間 (s)
1	1	5 (1~120)
	リポート実行回数	0 (クリア)
2	2	5 (1~120)
	リポート実行回数	0 (クリア)

#### ①リブート回数制限

リブート回数がリブート回数制限を超えた場合は、監視異常が発生してもリブートせず、機器の頻繁にリセットすることを避けます。

デフォルト：0（リブート回数制限なし）

設定範囲：0~10（回）

#### ②繰り返し

上記のリブート回数制限を繰り返して有効するかを設定します。有効の場合は、1時間ごとに下記のリブート実施回数⑥が自動的にクリアされ、リブート動作可能となります。無効の場合は、リブート回数制限が1回動作した後にリブート実施回数⑥が手動でクリアされるまでリブート動作を行いません。

デフォルト：無効

### ③リブートマスクタイム

前回リブート後にリブートマスクタイム内で監視異常が発生してもリブートしません。

デフォルト：0（マスクなし）

設定範囲：0~7200（分）

### ④アウトレット名称

個別アウトレットの名称を設定します。（全角 8 文字、半角 16 文字以内）

### ⑤リブート時間

個別アウトレットの電源出力を停止してから開始するまでの時間(秒数)を設定します。

デフォルト：5

設定範囲：1~120（秒）

### ⑥リブート実施回数

各アウトレットリブート実施回数。

### ⑦クリア

「クリア」ボタンを押して対応するアウトレットリブート実施回数をクリアします。

**注意：**リブート実施回数クリアを目的とする場合は、「設定」ボタンを押さず、

「キャンセル」ボタンを押すことにより「アウトレット設定」画面を閉じてください。

### 3.4.5 PING 監視設定

メインメニューの「設定」-「PING 監視設定」をクリックして各アウトレットの PING 監視情報を設定します。

No	① 実行	② 送信回数	③ 無答回数	④ 動作区分	⑤ 動作	⑥ 有効	⑦ 監視先アドレス
1	<input type="checkbox"/>	1	1	全てNG	レポート	<input type="checkbox"/>	
有効な監視先の内、全てがNGのとき選択した動作を実行します。							
2	<input type="checkbox"/>	1	1	全てNG	レポート	<input type="checkbox"/>	
有効な監視先の内、全てがNGのとき選択した動作を実行します。							

PING監視繰り返し時間間隔 (分) 10 (⑧) (1~120)

設定 キャンセル

#### ①PING 監視実行有効/無効

PING 監視の実行を有効・無効に設定します。無効に設定した場合は、このアウトレットにおける PING 監視を実施しません。

#### ②送信回数

正常・異常を判断するために PING を送信する回数を設定します。

デフォルト：1

設定範囲：1～59 回

#### ③無答回数

送信回数内で異常と判断する無応答回数を設定します。

デフォルト：1

設定範囲：1～59 回

#### ④動作区分

有効な監視先の内、PING 異常による動作の条件を設定します。「全て NG」と「何れか NG」が選択できます。

デフォルト：全て NG

全て NG に設定した場合は、有効に設定された監視先で全部 PING 異常が発生した時に動作します。何れか NG に設定した場合は、有効に設定された監視先の内 1 つでも PING 異常が発生した時に動作します。

#### ⑤動作

監視異常の場合のアウトレット動作を選択します。無動作、リポート、メール通知が選択できます。リポートを選択した場合もメール通知は実行します。

デフォルト：リポート

#### ⑥監視先有効・無効設定

監視先の有効・無効を設定します。

デフォルト：無効

監視先アドレスを設定しない場合は、有効に設定できません。

#### ⑦監視先アドレス

監視先のドメイン名または IP アドレスを設定します。

デフォルト：空白

ドメイン名を入力する場合は、制御ソフトが動作するパソコンでドメイン名から IP アドレスに変換して機器に設定するので、パソコンの DNS を有効に設定する必要があります。不正なドメイン名またはドメイン名から IP に変換できない場合は、エラーメッセージ「監視先アドレスの入力フォーマットが不正です。」を表示するので、正しいドメイン名または IP アドレスを入力してくだ

さい。この画面を再度開いた場合は、設定された IP アドレスをドメイン名に変換して表示しますが、変換できない時は IP アドレスを直接表示します。

### ⑧PING 監視繰り返し時間間隔

設定された PING 処理を繰り返して行う時間間隔。

デフォルト：60 分

設定範囲：1~120（分）

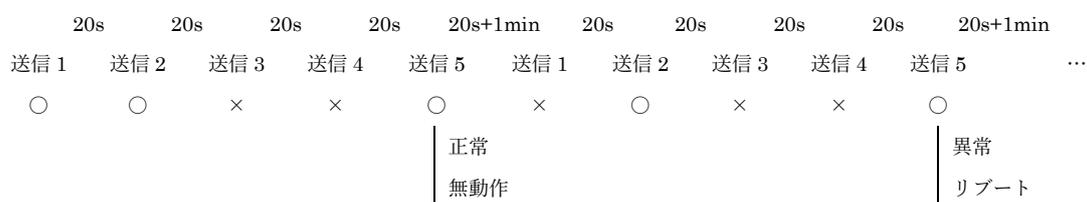
#### 【PING 監視の仕組みと動作】

「有効」に設定された「監視先アドレス」に対して PING 送信間隔（20s 固定）で ICMP エコー要求パケットを送出し、応答を待ちます。

設定した「送信回数」内で設定した「無答回数」無応答であるとその監視先を「異常」と判断します。「異常」と判断されたアウトレットに対し設定した「動作」を実行します。

設定した PING 監視繰り返し時間間隔で上記の処理を繰り返して行います。

（例）「送信回数」を 5 回、「無答回数」を 3 回、「PING 監視繰り返し時間間隔」を 1 分、「動作」をリブートに設定した場合。



### 3.4.6 スケジュール設定

メインメニューの「設定」-「スケジュール設定」をクリックしてスケジュール情報を設定します。最大 8 パターン登録できます。なお、NTP サーバー接続または制御ソフト設定による時刻同期を行っていない場合はスケジュールは動作しません。

No.	有効	アウトレット	曜日	時	分	動作
1	<input checked="" type="checkbox"/> ①	全アウトレット ②	毎日 ③	④	⑤	OFF ⑥
2	<input type="checkbox"/>	全アウトレット	毎日	0	0	OFF
3	<input type="checkbox"/>	全アウトレット	毎日	0	0	OFF
4	<input type="checkbox"/>	全アウトレット	毎日	0	0	OFF
5	<input type="checkbox"/>	全アウトレット	毎日	0	0	OFF
6	<input type="checkbox"/>	全アウトレット	毎日	0	0	OFF
7	<input type="checkbox"/>	全アウトレット	毎日	0	0	OFF
8	<input type="checkbox"/>	全アウトレット	毎日	0	0	OFF

設定      キャンセル

#### ①有効

設定したスケジュールの有効/無効を設定します。チェックした No.が有効になります。

#### ②アウトレット

制御するアウトレットを選択します。

#### ③曜日

実行する曜日を選択します。毎日、指定曜日、平日（月～金）が選択できます。

デフォルト：毎日

#### ④時

実行する時間を設定します。(入力範囲： 0～23)

#### ⑤分

実行する分を設定します。(入力範囲： 0～59)

#### ⑥動作

アウトレット動作を選択します。リブート、ON、OFF が選択できます。

デフォルト：リブート

### 3.4.7 メールサーバー設定

メインメニューの「設定」-「メールサーバー設定」をクリックしてメール制御を行うための制御・通知メールを送受信するメールサーバーの情報を設定します。

ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
受信サーバー名	<input type="text"/>
受信ポート	110
送信サーバー名	<input type="text"/>
送信ポート	25
メール確認間隔 (分) ①	5
再接続時間 (秒) ②	20
メールリトライ回数 ③	3

ユーザー名、パスワード、メールアドレス、受信サーバー名、受信ポート、送信サーバー名、送信ポート（ポート以外の項目は英数字 63 文字以内）は、プロバイダからのメール資料に基づき設定します。

### ①メール確認間隔（分）

制御メール受信処理の時間間隔を設定します。

デフォルト : 5分

設定範囲 : 1~59分

### ②再接続時間（秒）

制御メール受信のリトライ時間間隔を設定します。

デフォルト : 20秒

設定範囲 : 1~59秒

### ③メールリトライ回数

制御メール送信のリトライ回数を設定します（リトライ間隔は1分）。99を設定すると送信出来るまでリトライします。

デフォルト : 3回

設定範囲 : 1~99回

**注意：制御メールは暗号化しないでください。**

**リトライ回数無制限は V3.0.0 以降に適用**

## 3.4.8 メール制御設定

メインメニューの「設定」-「メール制御設定」をクリックしてメール制御の設定を行います。

メール制御設定

メール制御コマンド ①  有効  無効

メール制御アドレス1 ②  ③  イベント通知

メール制御アドレス2   イベント通知

メール制御アドレス3   イベント通知

メール制御アドレス4   イベント通知

設定 キャンセル

#### ①メール制御コマンド

メール制御コマンドの有効/無効を設定します。デフォルト : 無効

#### ②メール制御アドレス

制御メール送信元アドレスを設定します。英数字 63 文字以内で、最大 4 つのメールアドレスが設定できます。メール制御は、ここに設定したメールアドレスからのみ有効です。

#### ③イベント通知

特定イベントが発生した場合、イベント通知をチェックしたメールアドレスへ通知メールを送信します。詳細は「4 メール通知」を参照してください。

デフォルト : 通知しない

### 3.4.9 ログイン情報設定

メインメニューの「設定」-「ログイン情報設定」で機器にログインする際のユーザー名とパスワードの設定を行います。ログイン情報は大文字小文字を区別します。

ログイン情報設定

ユーザー名 :  ①

旧パスワード :  ②

新パスワード :

確認入力パスワード :

設定      キャンセル

### ①ユーザー名

制御メールを検証するユーザー名を設定します。半角英数字 1~16 文字以内

デフォルト : `username`

### ②パスワード

制御メールを検証するパスワードを設定します。半角英数字 8~16 文字以内

デフォルト : `password`

## 3.4.10 設定ファイルのインポート・エクスポート

上記各設定画面の設定は設定ファイルのインポート・エクスポートにより読み出し・書き込み可能です。設定ファイル (INI ファイル) の内容は以下の通りです。

赤い枠の設定はネットワーク設定情報です。ネットワーク設定を変更した場合、機器に再度接続する必要があります。

メインメニュー「ファイル」-「設定ファイルエクスポート」をクリックして自動リブートの各種設定を読み出し、指定された設定ファイルに保存します。

上記で読み出された設定内容を変更する場合は、ファイルの内容を変更し、メインメニュー「ファイル」-「設定ファイルインポート」-「ネットワーク設定情報インポート」-「その情報インポート」で変更したファイルを書込むことで、それぞれ上記の赤い枠の設定とその他の設定を自動リブートタップに設定します。

```

-----【システム-SYSTEM】-----
*** システム: NTPサーバ-IPアドレス設定 ***
[NTP_IP_ADDRESS]
NTP_IP_ADDRESS=133.243.238.243
NTP_IP_ADDRESS_TYPE=1
NTP_IP_ADDRESS_DOMAIN_LENGTH=11
NTP_IP_ADDRESS_DOMAIN_NAME=ntp.nict.jp

*** システム: 基本設定 ***
[SYSTEM_BASE]
*MAC[6] (輸出のみ、送信しない)
SYSTEM_BASE_MAC=00-08-13-80-3A-00
;-->
SYSTEM_BASE_HOUR=14
SYSTEM_BASE_MINUTE=36
SYSTEM_BASE_SECOND=32
SYSTEM_BASE_YEAR=21
SYSTEM_BASE_MONTH=7
SYSTEM_BASE_DAY=12
SYSTEM_BASE_WEEK=1
SYSTEM_BASE_DEVICENAME_LENGTH=5
SYSTEM_BASE_DEVICENAME=test1

***システム: ネットワーク設定
[SYSTEM_INTERNET]
SYSTEM_INTERNET_IP=192.168.0.113
SYSTEM_INTERNET_SUB=255.255.255.0
SYSTEM_INTERNET_GATEWAY=192.168.0.1
SYSTEM_INTERNET_DNS=192.168.0.11
SYSTEM_INTERNET_DHCP=2
SYSTEM_INTERNET_PORT=9090

-----【電源制御-POWER】-----
*** 電源制御: リポート時間間隔 ***
[POWER_INTERVAL]
;-->
POWER_INTERVAL_RESTART_COUNT=1
POWER_INTERVAL_RESTART_ENABLE=1
POWER_INTERVAL_RESTART_SHIELD_TIME=1
POWER_INTERVAL_OUTLET1=10
POWER_INTERVAL_OUTLET2=20

*** 電源制御: 名称設定 ***
[POWER_NAME]
;-->
POWER_NAME_OUTLET1_LENGTH=7
POWER_NAME_OUTLET1=Outlet1
POWER_NAME_OUTLET2_LENGTH=7
POWER_NAME_OUTLET2=Outlet2

-----【監視-MONITOR】-----
*** 監視: PING監視設定 ***
[MONITOR_PING]
;-->
MONITOR_PING_INTERVAL=10
MONITOR_PING_IMPL_INTERVAL=20
;--> MONITOR_PING_OUTLET1
MONITOR_PING_OUTLET1_EXECUTION=1

MONITOR_PING_OUTLET1_SEND_COUNT=3
MONITOR_PING_OUTLET1_NOACK_COUNT=2
MONITOR_PING_OUTLET1_ACTION=1
MONITOR_PING_OUTLET1_ACTION_TYPE=1
MONITOR_PING_OUTLET1_IP1_TARGET=192.168.0.11
MONITOR_PING_OUTLET1_IP1_ENABLE=1
MONITOR_PING_OUTLET1_IP1_TYPE=0
MONITOR_PING_OUTLET1_IP2_TARGET=192.168.0.13
MONITOR_PING_OUTLET1_IP2_ENABLE=1
MONITOR_PING_OUTLET1_IP2_TYPE=0
MONITOR_PING_OUTLET1_IP3_TARGET=192.168.0.81
MONITOR_PING_OUTLET1_IP3_ENABLE=1
MONITOR_PING_OUTLET1_IP3_TYPE=0
MONITOR_PING_OUTLET1_IP4_TARGET=192.168.0.1
MONITOR_PING_OUTLET1_IP4_ENABLE=1
MONITOR_PING_OUTLET1_IP4_TYPE=0
;--> MONITOR_PING_OUTLET2
MONITOR_PING_OUTLET2_EXECUTION=1
MONITOR_PING_OUTLET2_SEND_COUNT=5
MONITOR_PING_OUTLET2_NOACK_COUNT=3
MONITOR_PING_OUTLET2_ACTION=1
MONITOR_PING_OUTLET2_ACTION_TYPE=0
MONITOR_PING_OUTLET2_IP1_TARGET=133.11.204.98
MONITOR_PING_OUTLET2_IP1_ENABLE=1
MONITOR_PING_OUTLET2_IP1_TYPE=1
MONITOR_PING_OUTLET2_IP2_TARGET=202.224.32.4
MONITOR_PING_OUTLET2_IP2_ENABLE=1
MONITOR_PING_OUTLET2_IP2_TYPE=1
MONITOR_PING_OUTLET2_IP3_TARGET=61.122.112.136
MONITOR_PING_OUTLET2_IP3_ENABLE=1
MONITOR_PING_OUTLET2_IP3_TYPE=1
MONITOR_PING_OUTLET2_IP4_TARGET=219.188.200.128
MONITOR_PING_OUTLET2_IP4_ENABLE=1
MONITOR_PING_OUTLET2_IP4_TYPE=1

-----【スケジュール-SCHEDULE】-----
[SCHEDULE]
*** スケジュール: スケジュール設定 ***
;--> SET1
SCHEDULE_SET1_ENABLE=0
SCHEDULE_SET1_WEEK=1
SCHEDULE_SET1_HOUR=1
SCHEDULE_SET1_MINUTE=0
SCHEDULE_SET1_SECOND=0
SCHEDULE_SET1_POWER_NO=1
SCHEDULE_SET1_ACTION=2
*****
;--> SET8
SCHEDULE_SET8_ENABLE=0
SCHEDULE_SET8_WEEK=8
SCHEDULE_SET8_HOUR=8
SCHEDULE_SET8_MINUTE=0
SCHEDULE_SET8_SECOND=0
SCHEDULE_SET8_POWER_NO=0
SCHEDULE_SET8_ACTION=1

-----【メールサーバ-設定】-----
[MAIL_SERVER]
;--> ユーザー名
MAIL_SERVER_USERNAME_LENGTH=0
MAIL_SERVER_USERNAME=
;--> パスワード
MAIL_SERVER_PASSWORD_LENGTH=0
MAIL_SERVER_PASSWORD=
;--> メールアドレス
MAIL_SERVER_ADDRESS_LENGTH=0
MAIL_SERVER_ADDRESS=
;--> 受信サーバ名
MAIL_SERVER_RECEIVE_NAME_LENGTH=0
MAIL_SERVER_RECEIVE_NAME=
;--> 送信サーバ名
MAIL_SERVER_SEND_NAME_LENGTH=
MAIL_SERVER_SEND_NAME=
;--> メール確認間隔 (分)
MAIL_SERVER_CONFIRM_INTERVAL=5
;--> 再接続時間 (秒)
MAIL_SERVER_RECONNECT_TIME=20
;--> メールリトライ回数
MAIL_SERVER_RETRY_COUNT=3
;--> 受信ポート
MAIL_SERVER_RECEIVE_PORT=110
;--> 送信ポート
MAIL_SERVER_SEND_PORT=587

-----【メール制御設定】-----
*** メール制御設定 ***
[MAIL_CONTROL]
;--> メール制御コマンド
MAIL_CONTROL_ENABLE=1
;--> メール制御アドレス1
MAIL_CONTROL_ADDRESS1_NOTICE=0
MAIL_CONTROL_ADDRESS1_LENGTH=0
MAIL_CONTROL_ADDRESS1=
;--> メール制御アドレス2
MAIL_CONTROL_ADDRESS2_NOTICE=0
MAIL_CONTROL_ADDRESS2_LENGTH=0
MAIL_CONTROL_ADDRESS2=
;--> メール制御アドレス3
MAIL_CONTROL_ADDRESS3_NOTICE=0
MAIL_CONTROL_ADDRESS3_LENGTH=0
MAIL_CONTROL_ADDRESS3=
;--> メール制御アドレス4
MAIL_CONTROL_ADDRESS4_NOTICE=0
MAIL_CONTROL_ADDRESS4_LENGTH=0
MAIL_CONTROL_ADDRESS4=

```

また、ネットワーク設定情報をインポートした場合は、アプリソフトと自動リブートタップの接続が切断されますので、再度接続する必要があります。

No	キー	説明
1	[システム-SYSTEM]	システム設定
1.1	SYSTEM_BASE_MAC	MAC アドレス (エクスポートのみ)
1.2	SYSTEM_BASE_HOUR	時間設定-時 (0~59)
1.3	SYSTEM_BASE_MINUTE	時間設定-分 (0~59)
1.4	SYSTEM_BASE_SECOND	時間設定-秒 (0~59)
1.5	SYSTEM_BASE_YEAR	時間設定-年下位 2 桁 (0~99)
1.6	SYSTEM_BASE_MONTH	時間設定-月 (1~12)
1.7	SYSTEM_BASE_DAY	時間設定-日 (1~31)
1.8	SYSTEM_BASE_WEEK	時間設定-週 (1~7)
1.9	SYSTEM_BASE_DEVICENAME_LENGTH	機器名称バイト数 (0~24)
1.10	SYSTEM_BASE_DEVICENAME	機器名称 (24 半角文字以下)

1.11	SYSTEM_INTERNET_IP	タップ IP アドレス
1.12	SYSTEM_INTERNET_SUB	タップのサブネットマスク
1.13	SYSTEM_INTERNET_GATEWAY	デフォルトゲートウェイ
1.14	SYSTEM_INTERNET_DNS	DNS サーバーアドレス
1.15	SYSTEM_INTERNET_DHCP	DHCP 有効 (2) /無効 (1)
1.16	SYSTEM_INTERNET_PORT	通信ポート (0~65535)
1.16	NTP_IP_ADDRESS	NTP サーバーアドレス
1.17	NTP_IP_ADDRESS_TYPE	NTP サーバーアドレス種類 (0:IP、1:ドメイン名)
1.18	NTP_IP_ADDRESS_DOMAIN_LENGTH	NTP サーバードメイン名長 (0~30)
1.19	NTP_IP_ADDRESS_DOMAIN_NAME	NTP サーバードメイン名 (30 文字以下の半角英数字)
2	電源制御-POWER	アウトレット設定
2.1	POWER_INTERVAL_RESTART_COUNT	リブート回数制限 (0 無制限~10)
2.2	POWER_INTERVAL_RESTART_ENABLE	リブート回数制限繰り返し (0 無効、1 有効)
2.3	POWER_INTERVAL_RESTART_SHIELD_TIME	リブートマスクタイム (0 マスクなし~7200)
2.4	POWER_INTERVAL_OUTLET1	アウトレット#1 リブート時間間隔 (1~120)
2.5	POWER_INTERVAL_OUTLET2	アウトレット#2 リブート時間間隔 (1~120)
2.6	POWER_NAME_OUTLET1_LENGTH	アウトレット#1 名称バイト数 (0~16)
2.7	POWER_NAME_OUTLET1	アウトレット#1 名称 (16 半角文字以下)
2.8	POWER_NAME_OUTLET2_LENGTH	アウトレット#2 名称バイト数 (0~16)
2.9	POWER_NAME_OUTLET2	アウトレット#2 名称 (16 半角文字以下)
3	監視-MONITOR	監視設定
3.1	MONITOR_PING_INTERVAL	PING 監視繰り返し時間間隔 (1~120)
3.2	MONITOR_PING_IMPL_INTERVAL	PING 送信時間間隔 (20s 固定)
3.3	MONITOR_PING_OUTLETn_EXECUTION	PING 監視実行有効 (1)・無効 (0)
3.4	MONITOR_PING_OUTLETn_SEND_COUNT	PING 監視送信回数 (1~59)
3.5	MONITOR_PING_OUTLETn_NOACK_COUNT	PING 監視無答回数 (1~59)
3.6	MONITOR_PING_OUTLETn_	PING 監視動作

	ACTION	(0:無動作、1:リブート、2:メール通知)
3.7	MONITOR_PING_OUTLETn_ACTION_TYPE	動作区分 (0 全て NG、1 何れか NG)
3.8	MONITOR_PING_OUTLETn_TARGET_IP	PING 監視先 IP アドレス
3.9	MONITOR_PING_OUTLETn_IPm_ENABLE	PING 監視先有効 (1) /無効 (0)
3.10	MONITOR_PING_OUTLETn_IPm_TYPE	PING 監視先アドレス種類 (0:IP、1:ドメイン名)
4	スケジュール-SCHEDULE	スケジュール設定
4.1	SCHEDULE_SETn_ENABLE	スケジュール有効 (0:無効、1 有効)
4.2	SCHEDULE_SETn_WEEK	スケジュール曜日 (0:毎日、1~7:曜日、8:平日)
4.3	SCHEDULE_SETn_HOUR	スケジュール時間・時 (0~23)
4.4	SCHEDULE_SETn_MINUTE	スケジュール時間・分 (0~59)
4.5	SCHEDULE_SETn_SECOND	スケジュール時間・秒 (0~59)
4.6	SCHEDULE_SETn_POWER_NO	スケジュール動作アウトレット (0~2、0:全部)
4.7	SCHEDULE_SETn_ACTION	スケジュール動作 (0:OFF、1:ON、2:Reboot)
5	MAIL_SERVER	メールサーバ設定
5.1	MAIL_SERVER_USERNAME_LENGTH	メールサーバユーザ名バイト数 (0~63)
5.2	MAIL_SERVER_USERNAME	メールサーバユーザ名 (63 文字以下)
5.3	MAIL_SERVER_PASSWORD_LENGTH	メールサーバパスワードバイト数 (0~63)
5.4	MAIL_SERVER_PASSWORD	メールサーバパスワード (63 文字以下)
5.5	MAIL_SERVER_ADDRESS_LENGTH	メールサーバアドレスバイト数 (0~63)
5.6	MAIL_SERVER_ADDRESS	メールサーバアドレス (63 文字以下)
5.7	MAIL_SERVER_RECEIVE_NAME_LENGTH	メール受信サーバ名バイト数 (0~63)
5.8	MAIL_SERVER_RECEIVE_NAME	メール受信サーバ名 (63 文字以下)
5.9	MAIL_SERVER_SEND_NAME_LENGTH	メール送信サーバ名バイト数 (0~63)
5.10	MAIL_SERVER_SEND_NAME	メール送信サーバ名 (63 文字以下)
5.11	MAIL_SERVER_CONFIRM_INTERVAL	メール確認間隔 (1~59)
5.12	MAIL_SERVER_RECONNECT_TIME	メールサーバ再接続時間 (1~59)
5.13	MAIL_SERVER_RETRY_COUNT	メール送信リトライ回数 (1~99)

5.14	MAIL_SERVER_RECEIVE_PORT	メール受信サーバ通信ポート (0~65535)
5.15	MAIL_SERVER_SEND_PORT	メール送信サーバ通信ポート (0~65535)
6	MAIL_CONTROL	メール制御設定
6.1	MAIL_CONTROL_ENABLE	メール制御有効 (1) /無効 (0)
6.2	MAIL_CONTROL_ADDRESSn_NOTICE	イベント通知有効 (1) /無効 (0)
6.3	MAIL_CONTROL_ADDRESSn_LENGTH	制御メールアドレスバイト数 (0~63)
6.4	MAIL_CONTROL_ADDRESSn	制御メールアドレス (63 文字以下)

### 3.5 アウトレット制御と監視

ON/OFF/REBOOT ボタンをクリックしてアウトレット毎または全部の ON/OFF とリブート制御を行います。アウトレットの状態をリアルタイムで監視します。緑色は ON、灰色は OFF、赤色はリブートの状態を示します。



ソフトから遠隔制御の ON/OFF 制御はデフォルトで禁止されますが、危険が存在しないことを確認したうえで、以下の方法で ON/OFF 制御が可能になります。

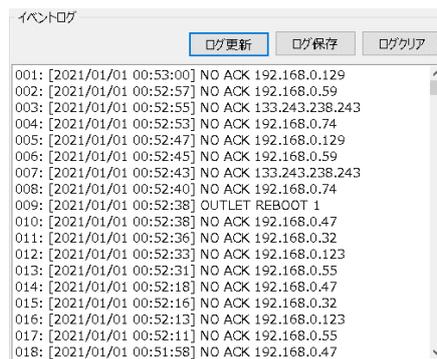
ソフトのインストールフォルダ (デフォルトは「C:\Program Files (x86)\YamatoDenki\RebootTapTool\」) の「Config」-「RebootTap.ini」をテキストエディタで開き、「OUTLET\_BTN\_FLG」の値を 1 に変更して保存し、ソフトを再起動します。

### 3.6 ロギング

自動リブートタップのイベントログを 1000 件記録可能です。1000 件を超えた場合は古いログから消去し、新しいログを記録します。ソフト起動時、または「ログ更新」ボタンを押すときに記録されたログがメイン画面の「イベントログ」に新しい時間順に表示されます。

「ログ保存」ボタンをクリックしてイベントログファイル名(拡張名は「log」に固定)を設定し、表示しているイベントログを指定されたファイルに保存します。

「ログクリア」ボタンをクリックするとイベントログ表示をクリアし、機器側のイベントログも消去されます。



#### ログの表示形式

nnnn [YYYY.MM.DD hh:mm:ss] event\_info event\_dat

nnnn : 連番号

YYYY.MM.DD hh:mm:ss : NTP 時間の年月日時分秒

event\_info : イベント情報 (下の表参照)

event\_dat : イベント情報に対応するデータ (下の表参照)

No	イベント情報	説明	イベントデータ	メール通知
1	PING	PING 送信	PING 送信先 IP アドレス	×
2	NO ACK	PING 無応答	PING 送信先 IP アドレス	△

3	OUTLET ON	電源 ON	アウトレット番号	×
4	OUTLET OFF	電源 OFF	アウトレット番号	×
5	OUTLET REBOOT	PING 監視電源リブート	アウトレット番号	○
6	OUTLET ON SCH	スケジュール電源 ON	アウトレット番号	×
7	OUTLET OFF SCH	スケジュール電源 OFF	アウトレット番号	×
8	OUTLET REBOOT SCH	スケジュール電源リブート	アウトレット番号	×
9	LOGIN	制御ログイン	ユーザー名	○
10	LOGOUT	制御ログアウト	ユーザー名	○
11	NTP SET	NTP サーバ接続	取得した時分秒	×
12	NTP ERROR	NTP サーバ接続エラー	NTP サーバIP アドレス	×
13	POP ERROR	メール受信エラー	なし	×
14	STMP ERROR	メール送信エラー	送信メールアドレス	×
15	FWUPDATE	ファームウェア更新	なし	×
16	SYSTEM RESET	機器リセット	なし	×

△ PING 監視の動作を「メール通知」に設定した場合、監視異常が発生した時にメール送信します。

○ 通知メール送信します。

× 通知メール送信しません。

### 3.7 PING 監視

PING 監視の状態を表示します。

「監視開始」ボタンまたはメインメニュー「監視」-「監視開始」をクリックして監視を開始し、監視状態を表示します。

「監視停止」ボタンまたはメインメニュー「監視」-「監視停止」をクリックして監視を停止します。

「監視クリア」ボタンまたはメインメニュー「監視」-「監視クリア」をクリックして監視開始時刻と監視状態の表示をクリアします。

「状態更新」ボタンまたはメインメニュー「監視」-「状態更新」をクリックして監視状態を更新します。なお、監視状態は約 20s 毎、自動に更新します。

The screenshot shows the 'PING監視' (PING Monitoring) interface. It includes a '状態更新' (Update Status) button, a table for '累積監視状況' (Accumulated Monitoring Status), a table for '動作判定条件' (Action Judgment Conditions), a '監視クリア' (Clear Monitoring) button, a '監視開始時刻' (Monitoring Start Time) display, and a main table for '監視先状態' (Monitoring Target Status). Callouts point to specific parts: '監視先アドレスと有効両方未設定' (Monitoring target address and valid both not set) points to a row in the main table; '監視先アドレス設定、有効未設定' (Monitoring target address set, valid not set) points to another row in the main table.

No.	動作回数	監視回数
1	0	1
2	1	1

送信回数	無答回数	動作区分	動作
3	3	全てNG	レポート
5	3	何れかNG	レポート

監視開始時刻: 2021/9/6 9:08:03 ④

No.	監視先	状態	無答回数
1	192.168.11.1 ⑤	正常	0
	192.168.11.2	正常	0
	192.168.11.3	異常	3
2	—	—	—
	192.168.0.211	異常	5
	192.168.11.212	異常	5
	192.168.11.213	—	—

#### ①累積監視状況

アウトレット毎の状態、動作回数と監視の累積回数を表示します。動作回数列の色で状態を表示します（正常は緑、異常は赤）。動作回数は動作判定条件を満たす動作の累積回数、監視回数は PING 監視繰り返しの累積回数をそれぞれ表示します。

#### ②動作判定条件

PING 監視設定画面で設定した動作判定条件を表示します。

#### ③監視クリア

「監視クリア」ボタンを押すことにより監視開始時刻と監視先状態の表示をクリアします。

#### ④監視開始時刻（年月日時分秒）

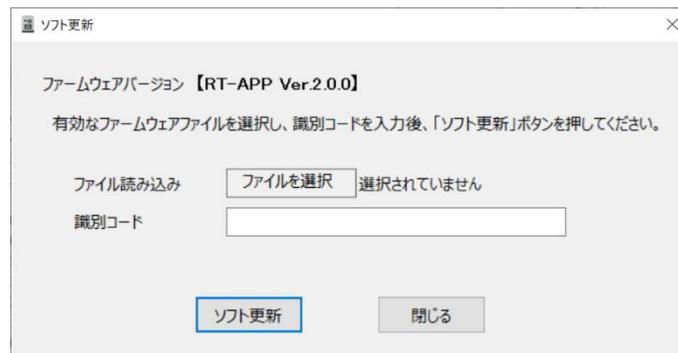
監視開始または監視クリアの直後、最初の監視先状態を受信した時刻を表示します。

## ⑤監視先状態

アウトレット毎の監視先の状態を表示します。監視先のドメイン名または IP アドレス、正常（緑）と異常（赤）の状態、無答回数をそれぞれ表示します。なお、無効な監視先または実行無効のアウトレットの全監視先を灰色で表示します。

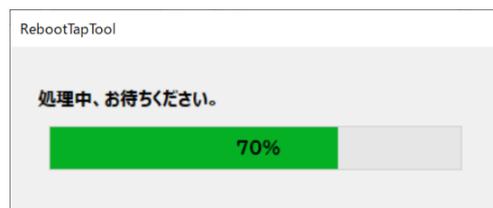
## 3.8 機器ファームウェア更新

メインメニューの「ヘルプ」-「ソフト更新」をクリックして機器ファームウェアを更新します。更新前のバージョン情報を画面の「ファームウェアバージョン」で表示します。



「ファイルを選択」ボタンを押して機器ファームウェアファイル（BIN ファイル固定）を選択します。識別コード（32 文字 16 進数数字）を「識別コード」に入力します。

「ソフト更新」ボタンを押して、識別コードが正しく入力された場合は、更新を開始します。次の更新進捗状況画面が表示され、更新状況が確認できます。



更新完了後に機器がリセットされ、出荷時設定に復帰しますので、ソフトと機器の接続を切断し、再度機器を接続する必要があります。

注意：ファームウェアバージョン Ver1.0.0 から更新するときは、更新完了後に機器を初期化してください。初期化の方法は「3.1 機器操作インターフェースの説明」をご参照ください。

## 4 メール通知

メール制御設定画面でイベント通知にチェックのあるメールアドレスへ PING 監視異常のリブートなどのイベントが発生した時にメールを送信します。イベントにより、警報メールと通知メールが存在します。

### 4.1 警報メール

PING 監視の異常が発生することによるアウトレットリブートに伴い、警報メールを送信します。

項目	内容
メール件名	Alert_reboot 機器名称
メール内容	機器名称 MAC アドレス YYYY/MM/DD hh:mm:ss outlet 1/2 reboot IP:xx.xx.xx.xx

件名の機器名称は V3.0.0 以降に適用

### 4.2 通知メール

PING 監視の動作を「メール通知」に設定した場合、または機器にログイン・ログアウトした場合、通知メールを送信します。

項目	内容
メール件名	Notice 機器名称
メール内容（固定部分）	機器名称 MAC アドレス
メール内容（監視異常）	PING 監視： YYYY/MM/DD hh:mm:ss outlet 1/2 ping NG IP:xx.xx.xx.xx
メール内容（ログイン）	YYYY/MM/DD hh:mm:ss LOGIN ID: username xx.xx.xx.xx (IP)
メール内容（ログアウト）	YYYY/MM/DD hh:mm:ss LOGOUT ID: username

件名の機器名称、ログイン通知の IP アドレスは V3.0.0 以降に適用

## 5 メールからの制御

アプリ接続中は、メールからの制御は受け付けません。

### 5.1 制御メールのフォーマット

制御メールのフォーマットは以下の通りです。

- ✓ メールの制御指令は全部大文字で記述します。
- ✓ 制御指令パラメータは半角英数字で記入します。
- ✓ セミコロン「;」で指令を区切りします。
- ✓ 「//」で開始する行はコメント文として取り扱います。

制御メール、または制御メール処理した後の返信メールのフォーマットは以下の通りです。

項目	制御メール	制御メール返信メール
件名	任意設定（16文字以下半角英数字）	制御メールの件名
本文1行目	メール制御開始指令 LOGIN	制御指令実施結果 1
本文2行目	メール制御登録ユーザー名	制御指令実施結果 2
本文3行目	メール制御登録パスワード	...
本文4行目	メール制御指令 1	
本文5行目	メール制御指令 2	
本文6行目	メール制御指令 3	
...	メール制御指令 n	制御指令実施結果 n
本文最後行	メール制御完了指令 LOGOUT	-

### 5.2 メール制御の指令

メール制御の文面は指令と複数のパラメータにより構成されます。

指令	パラメータ	処理	処理結果
LOGIN	なし	メール制御開始	なし
LOGOUT	なし	メール制御完了	なし
SET	あり	パラメータ設定またはデバイス制御	SET xxx OK/NG
GET	あり	パラメータ取得	GET xxx=.....

「xxx」は指令のパラメータとして、次表で説明します。

No	パラメータ	指令	機能	内容
1	ALL_SETTING	GET	全部の設定と状態	以下 GET の全部パラメータ
2	APP_VERSION	GET	バージョン情報	APP_VERSION=ファームウェアのバージョン情報
3	PING_STATE	GET	PING 監視結果	PING_STATE=アウトレット 1 状態,アウトレット 1 動作回数, アウトレット 1 監視回数,監視先 1 状態,監視先 1 無答回数,…, 監視先 4 状態, 監視先 4 無答回数,アウトレット 2 状態,アウトレット 2 動作回数,アウトレット 2 監視回数,監視先 1 状態,監視先 1 無答回数,…, 監視先 4 状態, 監視先 4 無答回数 (状態:0 未実施、1 異常ない、2 異常)
4	POWER_REBOOT	GET	リブート実施回数	POWER_REBOOT=アウトレット 1 リブート実施回数, アウトレット 2 リブート実施回数
5	NET_INFO	GET	ネットワーク設定情報	NET_INFO =IP アドレス, サブネットマスク, デフォルトゲートウェイ, DNS サーバーIP アドレス (以上は 4 バイトコンマ区切り), DHCP (1:無効、2:有効), ポート番号
6	DEVICE_INFO	GET	デバイス基本設定情報	DEVICE_INFO=MAC アドレス (GET のみ、6 バイトコンマ区切り),時,分,秒,年,月,日,曜日,機器名称
7	NTP_IP	GET	NTP サーバーIP アドレス	NTP_IP=IP アドレス (4 バイトコンマ区切り),IP 種類 (0:IP、1:ドメイン名),NTP ドメイン名
8	POWER_CONTROL	GET	アウトレット状態	POWER_CONTROL=アウトレット 1, アウトレット 2 0:OFF、1:ON、2:Reboot
9	POWER_PARA	GET/SET	アウトレット設定	POWER_PARA=リブート回数制限 (0:無制限),繰り返し (0:無効、1:有効),リブートマスクタイム (0:マスクなし),アウトレット 1 リブート時間,アウトレット 2 リブート時間
10	POWER_OUTLET_NAME	GET/SET	アウトレット名称	POWER_OUTLET_NAME =アウトレット 1,アウトレット 2

11	PING_RULE	GET/ SET	PING 監視 の設定	<p>PING_RULE =PING 監視繰り返し間隔, PING 間隔, #1 実行,#1 送信回数,#1 無答 回数, #1 動作, #1 動作区分,監視先 1 アド レス,監視先 1 有効, 監視先 1 種類,···, 監 視先 4 アドレス,監視先 4 有効, 監視先 4 種類, #2 実行,#2 送信回数,#2 無答回数,#2 動作, #2 動作区分, 監視先 1 アドレス,監 視先 1 有効, 監視先 1 種類,···, 監視先 4 アドレス,監視先 4 有効, 監視先 4 種類 (実施:0=実施しない、1=実施。 動作:0=無動作、1=リブート、 2=メール通知 動作区分:0=全て NG、1=何れか NG 有効:0=無効、1=有効 監視先種類:0=IP、1=ドメイン名)</p>
12	WEEKLY_ PLAN	GET/ SET	スケジュー ル	<p>有効 1,週 1,時 1,分 1,秒 1,アウトレット番 号 1,動作 1,有効 2,週 2,時 2,分 2,秒 2,アウ トレット番号 2, 動作 2,···,有効 8,週 8,時 8,分 8,秒 8,アウトレット番号 8, 動作 8 (有効:0=無効、1=有効 週:0=毎日、1~7=曜日、8=月~金の平日 動作:0=OFF、1=ON、2=リブート)</p>
13	PING_ ALONE	SET	PING 実施 (最大 4 回)	<p>PING_ALONE =PING 実施 IP アドレス (4 バイトコンマ区切り)</p>
14	REBOOT_ CLR	SET	リブート実 施回数クリ ア	<p>REBOOT_CLR=アウトレット番号 (1:アウトレット 1、2:アウトレット 2、 3:全部) <b>注意：1 通の制御メールで重複設定しな いでください。</b></p>

### 5.3 制御メールの例

#### ①全パラメータ取得の返信メール

```
GET APP_VERSION=RT-APP Ver.2.0.0;
GET PING_STATE=1,0,95,1,0,1,0,1,0,1,0,1,0,2,95,95,1,0,2,1,1,0,1,0;
GET POWER_REBOOT=0,0;
GET NET_INFO=192,168,11,109,255,255,255,0,192,168,11,1,192,168,11,1,2,9090;
GET DEVICE_INFO=164,218,212,240,0,29,8,0,39,21,11,17,3,RebootTap;
GET NTP_IP=61,205,120,130,1,ntp.nict.jp;
GET POWER_CONTROL=1,0;
GET POWER_PARA=2,1,20,10,5;
GET POWER_OUTLET_NAME=1,2;
GET PING_RULE=1,20,1,3,2,1,1,1,1,1,1,0,8,8,8,8,1,0,114,114,114,114,1,0,192,168,0,1,1,0,
1,5,3,1,0,133,11,204,98,1,1,202,224,32,4,1,1,61,122,112,136,1,1,219,188,200,128,1,1;
GET WEEKLY_PLAN=1,1,1,0,0,1,2,1,2,2,0,0,2,1,1,2,3,0,0,1,0,1,4,4,0,0,2,2,1,5,5,0,0,1,1,
1,6,6,0,0,2,0,1,0,7,0,0,0,2,1,8,8,0,0,0,1;
```

#### ②パラメータ設定メール

```
LOGIN;
username;
password;
SET;
POWER_PARA=0,0,0,5,5;
POWER_OUTLET_NAME=Outlet1,Outlet2;
PING_RULE=1,20,1,3,2,1,1,1,1,1,1,0,8,8,8,8,1,0,114,114,114,114,1,0,192,168,0,1,1,0,
1,5,3,1,0,133,11,204,98,1,1,202,224,32,4,1,1,61,122,112,136,1,1,219,188,200,128,1,1;
WEEKLY_PLAN=1,1,1,0,0,1,2,1,2,2,0,0,2,1,1,2,3,0,0,1,0,1,4,4,0,0,2,2,1,5,5,0,0,1,1,
1,6,6,0,0,2,0,1,0,7,0,0,0,2,1,8,8,0,0,0,1;
LOGOUT;
```

## 6 エラーの対処

制御ソフトはエラーが生じたときに以下のエラーメッセージを表示します。

エラー表示が出たときは以下の対処をしてください。

No.	エラーメッセージ	表示タイミング	対策
1	ソフトの二重起動ができません	ソフトを2重起動したとき	なし
2	接続先の IP またはドメイン名 (IP/Domain:Port) を入力してください	接続先に正しくないドメイン名または IP とポート番号を入力したとき	正しいメイン名/IP とポート番号を入力してください
3	接続できないので接続先の IP/ドメイン名を確認してください	機器に接続するとき 他の PC がログインしているとき	ネットワーク接続を確認した上で正しいメイン名/IP を入力してください
4	ログインは失敗しました	ログインするとき	正しいログイン情報を入力してください
5	通信異常です。ネットワーク状況を確認してください	制御ソフトと機器の通信を行うとき	ネットワーク状況または機器の状況を確認してください
6	ネットワーク情報が設定されましたので、再度接続してください	「ネットワーク設定」画面でネットワーク情報を設定したとき	再度機器に接続してください
7	〇〇の入力フォーマットが不正です	正しくないドメイン名または IP を入力したとき	正しいドメイン名または IP を入力してください
8	リブート実行回数取得は失敗しました	「アウトレット設定」画面でリブート実行回数取得できないとき	「アウトレット設定」画面を再度開いてください
9	リブート実行回数クリアは失敗しました	「アウトレット設定」画面のリブート実行回数「クリア」ボタンを押したとき	再度「クリア」ボタンを押してください
10	監視先アドレスが入力されない場合は有効に設定できません	「PING 監視設定」画面で監視先を入力せず（空白のまま）有効を設定するとき	監視先にドメイン名または IP を入力してください

11	PING 監視情報の取得は失敗しました	PING「監視開始」ボタンまたは「状態更新」ボタンを押したとき	ネットワーク接続を確認した上で再度「状態更新」ボタンを押してください
12	入力されたパスワードは一致しません。新パスワードを2回入力してください。	新パスワードと確認入力パスワードが一致していないとき	正しい新パスワードを入力してください
13	入力されたパスワードは一致しません。再度入力してください。	ログイン情報設定時に旧パスワードが間違ったとき	正しいパスワードを入力してください
14	正しい更新ファイルを選択してください	ソフト更新ファイルが正しくないとき	正しいソフト更新ファイルを指定してください
15	ソフト更新は失敗しました	ソフト更新できないとき	再度ソフト更新を実施してください
16	アプリは30分ほど機器にアクセスしないため、あと2分でログアウトします	30分以上機器にアクセスしないとき	「はい」ボタンを押してログアウトしますか、または「いいえ」ボタンを押して現状を保持してください
17	通信アダプターの設定が変更されましたのでソフトを再起動してください	制御ソフトが開いた状態でパソコン通信アダプターの設定が変更されたとき	制御ソフトを終了して再度起動してください